

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 2月

計画の名称	1-2 石川県における総合的な治水対策の推進（防災・安全）									
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）			交付対象	石川県、白山市、野々市市、金沢市					
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進行に伴う被害リスクの増大に対し、ハード整備とソフト施策の両面から、流域一体の総合的な治水対策を実施することで、水害に強い市街地、ふるさとの実現を図る。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去10ヵ年(H12～H21)に浸水した戸数のうち、計画規模の降雨に対して再び浸水の被害にあう恐れが解消された戸数を0戸(H22)から2,152戸(H26)に増加。</li> <li>・ 河川整備が必要な区間において、当面の目標とした治水安全度が確保された延長をL=50.3km(H22)からL=62.0km(H26)に増加。</li> <li>・ 石川県河川情報システムにおける県管理河川の水位局設置数を109箇所(H22)から113箇所(H26)に増加。</li> <li>・ 水門・堰等の機能保持のため、河川構造物（河川管理施設）について、長寿命化対策に着手した箇所を3箇所(H22)から35箇所(H26)に引き上げる。</li> <li>・ 市街地整備が進む白山市中心部における浸水被害リスクの増大に対して、下水道事業と協調して河川の改修を行い、水害に強い都市の実現を図る。</li> </ul>									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)				
①	河川改修事業の実施区間において、過去10ヵ年(H12～H21)に浸水した戸数のうち、計画規模の降雨に対して再び浸水の被害にあう恐れが解消された戸数			0戸(0%)	275戸(13%)	2,152戸(98%)				
②	河川整備が必要な区間のうち、当面の目標とした治水安全度が確保された延長			50.3km(57%)	58.0km(66%)	62.0km(71%)				
③	石川県河川情報システムにおける県管理河川の水位局設置数			109箇所	111箇所	113箇所				
④	水門・堰等の機能保持に努め、河川構造物（河川管理施設）の長寿命化対策に着手した箇所			3箇所	23箇所	35箇所				
⑤	倉部川の改修区間において、上流域の雨水対策の計画規模を満足する治水安全度が確保された延長			1,850m	2,460m	2,730m				
全体事業費	合計 (A+B+C)	20,189 百万円	A	20,038 百万円	B	0 百万円	C	151 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.7 %

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

石川県において評価を実施

事後評価の実施時期

計画期間終了後

公表の方法

石川県ホームページで公開

1. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・事業区間における過去10ヵ年の浸水に対し、計画規模の降雨に対して再び浸水の被害にあう恐れが解消された
- ・河川整備が必要な区間において、当面の治水安全度を確保した

II 定量的指標の達成状況

指標①（河川改修事業の実施区間において、過去10ヵ年（H12～H21）に浸水した戸数のうち、計画規模の降雨に対して再び浸水の被害にあう恐れが解消された戸数）

最終目標値

2,152戸(98%)

目標値と実績値に差が出た要因

- ・浅野川、栗津川の事業完成等により目標値を達成した

最終実績値

2,184戸(99%)

指標②（河川整備が必要な区間のうち、当面の目標とした治水安全度が確保された延長）

最終目標値

62.0km(71%)

目標値と実績値に差が出た要因

- ・浅野川、栗津川の事業完成等により目標値を達成した

最終実績値

63.8km(73%)

指標③（石川県河川情報システムにおける県管理河川の水位局設置数）

最終目標値

113箇所

目標値と実績値に差が出た要因

- ・当初目標値策定時からの水位局設置箇所の見直し等により、目標値を達成した

最終実績値

114箇所

指標④（水門・堰等の機能保持に努め、河川構造物（河川管理施設）の長寿命化対策に着手した箇所）

最終目標値

35箇所

目標値と実績値に差が出た要因

最終実績値

35箇所

指標⑤（倉部川の改修区間において、上流域の雨水対策の計画規模を満足する治水安全度が確保された延長）

最終目標値

2,730m

目標値と実績値に差が出た要因

最終実績値

2,730m

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

2. 特記事項（今後の方針等）

- ・引き続き整備を進めていき、ハード整備とソフト施策の両面から、治水安全度向上に努めていく